



# ①わかる授業からできる授業へ

- 幸手スタンダード授業5の活用  
→指導案に位置付け意識向上
- オール幸手でつくる学校自慢  
=実践の手引き=  
→年度初めに全職員に配付し、授業づくり・学級づくりに活用



# ②幸手市の課題改善

- 英語科パワーアップシート、確認テストの作成・実施
- 中学校区での合同英語授業の実施  
→該当小学校の6年生と担任、中学校の英語科の教諭、幸手市ALTが集まって、小中連携を強化
- 幸手市統一学力調査の実施

幸手市  
学力向上  
幸手市4挑戦

# ③教職員研修の充実

- 幸手・桜の学びセミナーの開催  
→英語科の小中連携をより太くするための研修会の実施
- 幸手市小・中学校年次教員等研修  
→市内の力のある教員に指導者を依頼し、初任者、2、3、5、10年次教員等を対象に授業研究会を実施



# ④家庭学習の習慣化

- 幸手学びのススメ10か条・家庭学習宣言の活用  
→家庭学習の手引きとして活用  
「今日の学びを家庭で復習」
- 幸手市スマートフォン私たちの行動宣言  
→家族・友達と共にスマホとの関わり方を決定
- 学力向上リーフレットの配付・活用

自ら学び、学び合う 幸手・学びのススメ10か条 (3+7)

<p>①夢や目標をもち 自分を信じて 根気よく 夢や目標に向かい、自分を信じて最後まで</p> <p>②書くこと、繰り返すことで 確かなものに 学習することで、自分の考えを整理し、繰り返すことで より確かに</p> <p>③今日の学びを 家庭で復習 自分の学びを、家族や友達と話し、中学校は、朝晩10分、 学習に励む家庭学習を</p>	<p>④互いにあいさつ笑顔あふれる学校に あいさつは、ともに学ぶ仲間と心を通わせる第一歩</p> <p>⑤準備を整え きまりを守って 授業に集中 しっかり準備、学習の始まりを守り、やる気スイッチオン</p> <p>⑥「なぜ」「どうして」「わからない」 が学びのスタート 疑問をもち、解決するために自ら取り組むことが学びのスタート</p> <p>⑦「聞き名人」「伝え名人」で学び合い みんなの疑問を解く。自分の考えを伝えることで、 生まれる学び合い</p>
---	---

⑧早起 早起き 朝ごはん 規則正しい生活リズム  
規則正しい生活は、気力、体力、学力の全てがアップ

⑨家族みんなで「家族」(いえどく)タイム  
計画で出会う「のんびり」が、言葉の心を通わせる

⑩はじむよう！ノーマディアデー・タイム  
テレビやパソコン、ゲーム機、携帯、スマホの電源オフ  
家族で読書、読書、学校、やる気スイッチ